

【出席率】 会員58名中43名

【先々週の出席率】 83.02%

【ビジター】

三条北RCより 中條耕二君  
三条RCより 小林敬典君

【先週のメークアップ】

4/21 三条北RCへ 星野健司君 西巻克郎君  
野島廣一郎君 田中悌司君  
4/22 地区R財団定例ミーティングへ  
野崎正明君 田代徳太郎君  
4/23 三条東RCへ 飯山勝義君 丸山徹夫君  
若井 博君



## 会長挨拶

吉井 正孝 会長



こんにちは。ご挨拶申し上げます。  
今日は三条 RC から小林敬典さん、三条北 RC から中條耕二さん、ようこそおいでくださいました。どうか最後までごゆっくりお過ごしください。

さて「今日の暦」をひも解いて見ますと・・・、1917年（大正6年）の今日、日本で最初の「駅伝大会」が開催された日です。読売新聞社が主催した「東海道駅伝徒歩競争」が行われ、これが駅伝競技の始まりでした。京都の三条大橋から東京の不忍池までの全行程 508 km を 23 区間に分け、3 日間かけて走りました。「駅伝」という名称は、東海道五十三次をヒントに名付けられたものでした。

さて本日の「卓話」、田中悌司さんの「旅の話」・・・。そして間もなく、ゴールデン・ウィークの始まりです。不況下のこの長い休日ですが、それでもゆっくり、心と身体を癒していただきたいものです。田中さんの卓話、期待しております。

先日の4月20日、わが南クラブの主催である会合が開かれました。

「市内7クラブ会長幹事会」です。構成団体は、三条 LC、三条中央 LC、三条リバティ LC。それにロータリー側は、三条、三条北、三条東、それにわが南 RC の7団体。昨年まではこれに栄 LC と下田 LC の2団体が加入しておられ9団体の参加でしたが、今年から退会され7クラブの参加となりました。この会合は毎年この時期開催され、その年度の会長幹事と次年度会長幹事の一団体4名の参加で、各クラブからの概況報告と親睦会が中心の交流会でした。とは言うものの私が代理出席した過去2回の会合の実態は、各クラブからの報告時間は僅か30分、その後の懇親会に2時間・・・。参加人員の関係で会場は大広間。その為、それぞれの席が遠く、そこに芸者が現われたりして、「お金を掛けた割には、それぞれの団体



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓国]  
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三条南]  
第4分区AG 古 井 辰 禱 [吉 田]  
会 長 吉 井 正 孝  
幹 事 鈴 木 圀 彦  
S A A 野 中 悟

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10  
三条信用金庫本店内

☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-male info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

との交流も少なく、内容に乏しいもの」になってしまっているように、私には思えてなりませんでした。

会の歴史や主義主張、活動内容は違って、僅か 10 万足らずのこの町で活動する同じ「社会奉仕団体」、もっと率直に話し合いの機会が持てないものかと、いつも考えていました。

そんな今年 1 月、この 7 クラブ会合を開催する幹事クラブとして、各クラブ宛、会の「存在意義を問う文章」を送りました。この交流会の「開催意義」を各クラブに改めて問い直したつもりでした。RC は別として、各ライオンズクラブからは多くのお叱りの言葉を頂き、事務局 長橋さんを随分困らせたようでした。返信が届いた 7 団体の意見を集約すると、(1) 会を継続・(2) 文書による「活動報告提出のみ」・(3) 幹事クラブ「一任」がほぼ同数の結果となり、結局この日、各クラブの当該年度の会長幹事の 2 名ずつの出席で、人数も昨年の 36 名から「14 名」・・・会場もお座敷から「ロイヤルホテル 6 階」でひとり 5,000 円の比較的「安い会費」。「会議と懇親会」をしっかりと分けた 2 テーブル形式で開催させて頂きました。

テーブルを挟んで顔と顔を突き合わせた形の会議は、それぞれの本音が伺える内容の濃い会合となり、時間も予定の一時間をゆうに超えてしまいました。そののち、各クラブがバラバラに着席しての「懇親会」。嫌でも話さない訳には行かない雰囲気づくりをしました。

そして判った事は、どのクラブも「会員募集」と「退会防止」には、大変な苦勞しておられる様子。そしてこの不況下の「資金難」。しかし話が進む中、7 クラブが共に活動する機会が何かないものか・・・これから年一回位、「統一事業」を行うような視点も必要では・・・と言う、前向きな意見も出てきたのが何よりの「収穫」でした。

「金ばかりかかって内容が乏しい。こんな会合なら止めても・・・」と、覚悟を決めて取りかかった交流会でした。しかし今は「止めずに良かった」と思いを新たにしています。

そして来年は三条 LC さんが幹事年度。形式は年度の幹事クラブの方針で、毎年多少変わるかも知れませんが、今年のあの雰囲気をもち続けて、来年の開催に期待したいものです。今日の会長挨拶はこの辺で・・・。

## 幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

### ●馬場ガバナー事務所より

#### ① 5 月のロータリーレートについて

現行 1 ドル 98 円 変更なし

#### ② 「第 10 回ロータリー日韓親善会議」のご案内

日時 2009 年 9 月 4 日 (金) ~ 5 日 (土)

会場 グランド・ハイアット・ソウル

大会予定 4 日 会議・晚餐会

5 日 会議・昼食会・記念講演

※詳細につきましては、『ロータリーの友』4 月号をご覧ください

※A~D コースの親善会議参加ツアーがございます

※第 11 回会議は、2011 年 9 月 2 日 (金) ~ 3 日 (土) 於：東京ディズニーランド開催予定

## 5 月のお祝い

### 会 員 誕 生

3 日 野崎正明君      4 日 佐藤嘉男君      6 日 野島廣一郎君      27 日 三野輪明人君

### 夫 人 誕 生

5 日 永桶京子 (俊一) さん      6 日 相田京子 (明雄) さん      9 日 安達範子 (裕) さん  
10 日 船久保佳子 (孝志) さん      21 日 飯山栄子 (勝義) さん

### 結 婚 記 念

1 日 武藤昭三君・良子さん      2 日 船久保孝志君・佳子さん      2 日 熊倉高志君・豊子さん  
7 日 相田明雄君・京子さん      7 日 葦澤喜一郎君・トシさん      8 日 佐藤栄祐君・政子さん  
10 日 嘉瀬 修君・弘子さん      13 日 坂井範夫君・洋子さん      18 日 谷 晴夫君・ひさ子さん  
20 日 長谷川晴生君・裕子さん      20 日 飯山勝義君・栄子さん      20 日 住谷哲雄君・幸子さん  
23 日 草野恒輔君・恭子さん

\* \* おめでとうございます \* \*



# ヨロコボックス

～・ 4月27日 20,000円

今年度累計 883,894円 ・～

- 三条北RC 中條君 田中悌司さんの卓話を楽しみに参りました。
- 吉井君 いよいよゴールデンウィークの始まりです。景気は今ひとつですが、皆様楽しい連休をお過ごし下さい。田中会員の旅の話、楽しくお聞きしたいと思います。
- 鈴木(圀)君 本日の卓話、田中悌司さん御苦労様です。よろしくお願いします。
- 田中(悌)君 卓話担当です。つまらないお話になります、すみません。
- 相田君、安達君、飯山君、佐藤(秀)君、田代君、坪井君、永桶君、菫澤君、野中君、馬場(一)君  
田中悌司さん、卓話ご苦労さまです。期待しております。
- 石山君、坂本君、鈴木(武)君、野島君、平松君  
BOXに協力致します。
- 坂井(範)君 連休が始まります。この様子ですと天気が良くなると思います。お出かけの方は事故に気をつけて下さい。田中さんの卓話楽しみにしております。



## 「一人旅の雑話」

田中 悌司 会員



卓話の順番が廻ってきました。戦争中の召集令状の赤紙の様なもので（実際は知りませんが、想像です）、この重圧は結婚式での祝辞どころではありません。何を話すべきか悩みましたが、大先輩の安達様に伺ったところ、話題は「君の女性遍歴でも、何でもいい」とのお答えでしたので、全くたわいない話になるのですが、40数年前、ヨーロッパ一人旅で経験した2、3をお話させていただこうと思います。出来ることでしたら吉井会長に「終わりの点鐘」をたたいて頂き、皆さんのお帰りになった後でお話したい様な気持ちです。

3人目の子供が生まれて間もない頃、ある得意先から「ヨーロッパを旅すると人生観が変わるよ」とのアドバイスで1ヶ月の旅を決行しました。（アテネ、ローマ、ミラノ、ベルリン、ストックホルム、ヘルシンキ、ロンドン、パリ、マドリード、コペンハーゲン 等）

### ① 出発の羽田

当時は、海外旅行などという身内の見送りで旅立ったものですが、私も例にもれず3人の子供達と女房、友人、会社の人達10数名が羽田に見送りに来てくれたものです。館内の英語のアナウンスメントは全く聞きとれないそんな英会話の力しかなかった者の一人旅は楽しみ半分、心配半分の旅立ちでありました。

### ② アテネで

南廻りのスイス航空のヨーロッパ行きで、最初の乗り継ぎに立ち寄ったアテネでは7～8時間の自由時間があり、知り合った台湾の石油省の高官の案内でパンテノン等の名所を見て廻ることができました。

### ③ ローマ空港で

たまたま次の訪問地はローマで、その台湾の高官も一緒に空港に降り立った時、今晚一緒に食事をしようということになりホテルをお互いに聞き合ったのは良かったのですが、彼が空港ロビーのピカピカに磨き

上げられている大理石にツバを吐いたのです。その非常識が恐ろしくなってホテルでの待ち合わせをやんわりと断ってしまいました。これが海外で最初の嫌な経験でありました。

#### ④ ローマでの観光バス

市内観光バスに乗った時のことです。その観光バスがどんなシステムで運行されているかは全くわからず飛び乗ったのですが、サンピエトロ大聖堂の中のパウロ何世かのミサの集まりを遠まわしに見学したまでは良かったのですが、次の停留所でバスの人達のほとんど全員が降りたものですから私もつられて降りた訳です。ガイドの英語の説明が全く聞き取れなかったばかりに、下車の必要はなく観光が続けられたのに。そんなことも知らず、ホテルに帰ってつたない英語を駆使し、たった一ヶ所の見学で何千リラも払わされて高いじゃないかとクレームしたらフロントの男に「法皇を見ただけでも十分価値があったじゃないか」と軽くいなされてしまいました。今考えると回遊観光バスで乗車した所から何ヶ所か名所をまわって、また元の場所に戻って来た所で降りれば良かったようです。勿論バチカン宮殿も見ずじまいでした。

#### ⑤ チューリッヒで

スイスのチューリッヒで、女房の土産にと思って入った時計屋で、陳列台のガラス越しにあれやこれやと眺めていたら、若い日本女性の店員がさっと目の前に現れて、「時計を眺めながらお話をして下さい。どこのホテルにお泊りですか。6時半にロビーで待っていて下さい。食事を一緒にしましょう」と言うのです。胸が高鳴りましたね。二つ返事でOKしたのは勿論です。その夜チーズ料理店で初めて食するフォンデュに舌鼓を鳴らしました。食後、4~5人のバンドが居るバーに連れて行ってくれました。我を忘れた一時でした。帰り、ホテル近くの市電の駅で何事も無くサヨナラしたわけです。何でも大学卒業後、ドイツ語の学習で3年計画でチューリッヒに来たのだそうです。

勿論、食事、バーは私の支払いは言わずもがなです。それ以上に発展しなかったのは私の理性のせい、小心者のなせるわざだったのか未だに判りません。

#### ⑥ 民宿

デュッセルドルフの鉄道ターミナルの案内所で宿泊所を探しました。「ドイツ語少しわかる？」と聞かれ、「一寸なら」と言うので早速、民宿を紹介してくれました。タクシーでそのアパートへ。左官職の父親と郵便局勤めの母親と中二の少女の家族です。その中二の少女が通訳してくれました。土・日と泊まったのですが、土曜日の夜は近所から父親の友人が集ってワイン。身元調査の様な会話ではずみしました。

翌日、日曜日には近くの教会の日曜礼拝に連れて行ってくれたりして極めて好意的に扱ってくれたことを憶えています。中二の少女は、「ありがとう」と言う度にpleaseと言うのです。あとでわかったことですがドイツ語で「どういたしまして」はbitte schon。このbitteはpleaseにあたることから、少女は間違って使っていたのですね。

ベルリンやハンブルグの町のレストランでも何か親日的な情愛を示す人達に囲まれました。第二次世界大戦を共に戦った国ということで親日的だったのかなと勝手な想像をしています。

#### ⑦ ロンドンの町で

イギリスのヒースロー空港で宿を決め、バスでロンドンの市内に入ったまでは良かったのですが、ホテルの住所の紙をタクシーの運転手に見せて「行ってくれ」と言いますと、最初のタクシーは「NO」、次のタクシーは「近いから歩いて行け」と言うのです。

まいりました。石畳の凸凹の歩道を大きなトランクを引きずりながら10分も歩いたでしょうか、やっと見つけた時には胸をなでおろしました。「NO」と言われたのは、意地悪されたのか本当に近いから歩いた方が良いと言ったのか今でも謎です。

#### ⑧ マドリードで

空港からやっとのことで、目指した大きなホテルに荷解きも遅しと地図をたよりに美術館に向かったのですが、その路上で若い青年に呼び止められて強引に靴を磨かれるはめになりました。不必要な金具まで打たれて何百円と言われたのです。小さなお金が無くて1万円相当の紙幣を出すと、ひったくるようにその青年は逃げて行ってしまいました。小心者の私にとっては怖くて、怖くて、美術館どころではありません。すごすごとホテルに帰って室に閉じこもってしまいました。結局、マドリードの美術館どころか、町全体も見ずに終わってしまいました。あの時ほど一人旅のつらさを味わったことはありません。

## ⑨ コペンハーゲン

最後の訪問地はコペンハーゲンで、北廻りで帰国。

コペンハーゲンではホテルにたどり着いてもう疲労困憊。ベッドの上に服を着たまま身体を投げ出して、観光案内所を読めば十分だと自分に言い聞かせて横になってしまいました。ところが一時間もしますと、大金を使ってはるばるヨーロッパまで来たことを思うとこんなことをしていられないと思い直し、一時間後には町にくり出していました。貧乏性は、どうしようもありませんね。

夜は、暇なものですから映画を見て過ごしました。この一ヶ月での旅では、よく映画を見ました。『チキチキバンバン』『ロメオとジュリエット』『おじさん』・・・、よく分からなかったのですが、その後日本でその映画を見直したのは勿論です。

## ⑩ 最後に

いきがって一人旅をしたのですが、幼稚園児の様な言葉しか話せないものにとっては、極めて疲れた旅であったばかりか、名所、旧跡、観光スポットの見落としがあまりに多く、非効率的な旅であったように思います。色んな所を見る旅は、グループでバック旅行するのが一番と今は考えています。得意先の言った「人生観は変わる」の言葉通りではなかったけれど、新しい世界を知ったような感覚になったことは確かです。

つまらない話をだべってしまいました。お聞きいただきありがとうございました。

## 馬場ガバナー月信をお届け致します



### 米山奨学生修了式・歓送会 ～ ロータリー米山精神を胸に… ～

米山奨学委員会 奨学生・学友担当 兵藤 邦広 (新潟南 RC)

3月7日(土)2008学年度、米山奨学生の修了式・歓送会が開催されました。奨学生の卒業式ともいえます。当日は、終了者14名と各大学からの指導教官4名を含め、カウンセラー、ロータリアン等合わせて62名のご出席を頂きました。終了奨学生の中には自国の民族衣装を身に纏っている人もいて、華やかであたたかい雰囲気での歓送会となりました。今年の終了者は、奨学期間1年が9名、2年が6名の合計15名でした。



米山奨学生と詹学友会会長

懇親会では、終了奨学生とカウンセラーとが各々の思い出話に華をさかせ、微笑ましい光景でもありました。またアトラクションでは、次から次へと自国の歌などを披露する奨学生もいて大変盛り上がりしました。米山奨学生は、終了と同時に学友となります。学友と成ってからも、「ロータリー米山奨学の精神」を忘れることなく、お世話に成ったカウンセラー、世話クラブのロータリアンの皆様との末永いお付き合いを切望します。折々に思い出して頂き、それが年賀状の一枚でも良いと思います。最後になりましたが、馬場ガバナー、植木ガバナー・エレクト、詹学友会長をはじめ、多数のロータリアンのご出席に心より感謝と御礼を申し上げます。

## 2008-09 年度 第 2560 地区クラブ紹介



十日町 RC  
尾身 幸雄 会長

### 伝統ある十日町ロータリークラブ

十日町ロータリークラブは、1956年（昭和31年）新潟、長岡に続き、県内三番目に、国際ロータリーから加盟認証されました。創立50周年も2006年5月28日に開催し、着実に伝統と歴史を積み上げて参りました。

十日町地域は、地場産業が低迷している中、会員相互の親睦を第一に図り、親睦委員会が色々な事業を展開しております。

現在、会員数30名を前後しています。まとまりが良く、出席率が高く、イベント上手な十日町ロータリークラブです。

### 元気な雪国魚沼ロータリークラブ

雪国魚沼 RC は 1963 年に設立、会員数は女性 2 名を含む 24 名、平均年齢 51 歳のクラブです。今話題の直江兼続公の生誕地である南魚沼市、また川端康成の『雪国』の舞台となった湯沢町を地域としております。

地域内に国際大学があることから米山奨学生の世話クラブとなる機会が多く、世界各国の様々な文化にふれられると同時に、真摯に学ぶ奨学生の姿に私たちが背中を押されています。

主な事業として毎年6月に「シングルスパーティー」（お見合いパーティー）を開催、今年は地区補助金を受けることが決定したこともあって、内容を更に充実させようと力が入っております。参加者がいらっしやれば大歓迎です。

若い会員の行動力とベテラン会員の知識と知恵が合体して元気パワーとなり、どんな時も協力しあえる素敵な仲間の集まりです。皆様ぜひメイクアップにお越しください。



雪国魚沼 RC  
富山 洋 会長

### 10年で5倍にして実現した記念碑

今年は十日町雪祭りの第60回の節目で、「現代雪祭り発祥の地」と刻んだ立派なモニュメントが建立され、2月7日に除幕式が行われた。10年前、我がクラブ創立30周年の時、雪祭り第50回を迎えていたので、記念事業として記念碑を作る計画に200万円を寄付した。諸般の事情から建設は延びたが、基金を増殖する形で残し、設立準備委員会で更に募金を募って、完成に漕ぎつけた。我がクラブの10年来の願いが大きく叶ったわけでありませう。



十日町北 RC  
星名 信昭 会長

### 私の所属するクラブ

私の所属しているクラブは第6分区、中魚沼地方にある津南ロータリークラブです。現在会員28名の小さなクラブです。

津南 RC は一昨年30周年を迎えました。この様な津南 RC に私は16年前入会致しました。入会した当時は仕事の事で何度か退会も考えました。しかし、こうして現在の私が有るのはこのクラブの堅苦しく無い自由な雰囲気のおかげだと思っています。

そして入会15年目に2008-2009年度のクラブ会長を仰せつかりました。重点目標の第一番は『ロータリーを楽しく』です。このクラブの良さを解ってもらい楽しんで頂く事が私の願いです。



津南 RC  
島田 繁 会長